

宮地小だより

6月

文責
八代市立宮地小学校
校長 嶋村 立馬

「み」みんななかよく 「や」 やいとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

いじめについて考えました!!

今、子どもたちの使う言葉がとても気になっています。特に、「死ね」「消えろ」などの命に関わる言葉を、簡単に子どもたちが使ったり、友だちに対して言うことがあるという話を先生方から聞き、とても悲しい気持ちになります。

今週、火曜日に全校集会が行われましたので、その機会に子どもたちに話をしました。内容は、私の父が亡くなる前に、病気と闘う姿、生きたいと願う姿を見て命の大切さをとても感じたこと、そして父親が亡くなったときとても悲しかったが、その後、学校で子どもたちが「死ね」「消えろ」といった



言葉を使っているのを聞いたとき、もっと悲しくなったことを子どもたちに伝えました。そして、相手を傷つける言葉や命に関わるような言葉を友だちに対して、絶対に言わないでほしいことを伝えました。

また、木曜日には人権集会が行われました。集会では、いじめについてのビデオを見て、感想を発表し合いました。多くの子どもたちが意見や考えをみんなに伝えてくれました。私からは、「友だちを傷つける言葉や命に関わる言葉を使わないことが、クラスでいじめを許さない雰囲気を作っていくことにつながる、ぜひ、クラスでいじめを生まない雰囲気を作っていってほしい」と再度伝えました。教室に帰ってからの1時間は、各クラスでいじめについて、自分たちを振り返って考えました。

全校集会、人権集会を通して投げかけた言葉の意味を考え、受け止めてほしいと思います。そして、一人一人がいじめについて深く考え、みんなが安心して過ごすことができる宮地小学校にしていってほしいと願っています。

あいさつ運動がんばっています

今週、運営委員会の子どもたちが、2つの校門に立って、朝のあいさつ運動をしてくれました。参加してくれた運営委員会の人に感想を聞くと、「はじめは自分たちからあいさつして、やっとあいさつが帰ってきていましたが、少しずつ、自分からあいさつしてくれる人が増えました。」と答えてくれました。自分から進んであいさつができる人を増やしたいという思いのもと、子どもたちが自ら考え、計画を立てて取り組んだこのあいさつ運動、このような一つ一つの主体的活動が、学校を変えていく大きな力になることを改めて感じました。運営委員会の皆さん、ありがとうございました。

